

総合教育会議（第2回）会議録

1 開 会 年 月 日	平成29年8月29日（火） 午後4時
2 場 所	笠岡市役所 市長室
3 出席委員等の氏名	笠岡市：市長 小林嘉文 教育委員会：教育長 岡田達也 教育委員 谷 喜一朗, 三谷信恵, 石井啓弐, 藤谷幸弘
4 欠席委員等の氏名	なし
5 会議に出席した者の職・氏名	教育部長 井上洋一 教育総務課長 黒田英樹
6 議事案件及び会議の概要	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 市長, 次いで教育長</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 小中一貫教育について</p> <p>まず, 第1回総合教育会議以降の変更点について確認。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間保育園経営者から幼・小・中一貫校をつくることに対して反対意見が多く, 6月の市議会で幼・小・中一貫校の設立については白紙撤回した。 ・7月28日には市長とPTA連合会との語る会が開催され, 笠岡西中学校ブロックを2つに分割して, 笠岡小学校の場所に「敬業校」を設立することはしないことが確認された。 ・小・中一貫教育の内容及び一貫校の設立については教育審議会を立ち上げ, その審議会で検討していただき, 答申をもらう。 ・学区・範囲については小北中学校を含め市内10の中学校区で検討する。小中一貫校の形態は審議会の検討に委ねるが, 小中一貫教育の効果の発現が大きいのは一体型。学校規模適正化も含めて, 教育審議会で各学区での形態を検討いただきたい。 ・推進の理由は中1ギャップをなくすこと。不登校・イジメだけでなく学力面でも。滑らかな接続により浮いた時間で郷土愛を育む時間に充て, 将来は笠岡に帰ってくれるような教育をしてほしい。 ・第7次の総合計画の素案がまとまり8月25日からパブリックコメントに付している。9月下旬に締め切り意見を回収して10月の審議会かけ, 11月には答申をいただき12月議会上に上程し議決が得られれば来年4月からスタートすることになる。 <p>(2) 笠岡市PTA連合会と校園長会からの平成30年度予算要望について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA連合会は消耗品費・修繕費といった施設整備関係の要望が多い。校園長会は学力向上のために市費での支援員の増員であったり, ICT支援員の増員, さらには校務員の配置といった人的要望が多い。PTA連合会と校園長会とで話し合ってもらって要望に優先順位をつけてもらう会を催して実のある要望にしてもらう。 ・それぞれの要望があるなか多額の予算を伴うものもあるため優先順位等を検討していただきたい。 ・来年度から給食の始まる幼稚園に加え, 小中学校も給食費の集金業務を学校給食センターでする方向で検討する。 ・来年度から順次, 校務員（＝教師業務アシスタントの意味）を配置していった先生方の負担を軽くして, より子どもたちに向き合う時間を確保できるようにする。 <p>(3) 子どもの居場所「放課後児童クラブ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・放課後児童クラブの所管はこども部であるが, 学校施設を使用するということで協議した。陸地部のほとんどの小学校に放課後児童クラブがある。笠岡小学校には校内と笠岡保育所の場所の2カ所にあり, 基本小学1年生から4年生までを預かっている。しかし, 働く親からは5・6年生も預かって欲しいとの要望もあ

るが受入が出来ていない現状がある。

・学校教室の余裕があってその教室をどのように活用されるかは校長先生はの判断に依る。教育委員会と市長部局が協力して校長先生にお願いしていくことが大事。方向的には現在の4年生までの受入を、希望があれば5・6年生まで受け入れ可能に変えて行く。

(4)小学校プール開放について

・夏休みに入って水泳記録会までは先生方がお世話をしていただけだが、プール開放事業は保護者が責任を持って行うこととなっている。昨今、働く保護者が多くなりプール当番が出来にくいことから8月の頭には終わっている現状がある。

・我々には「笠岡の子どもは小学校6年生までに50メートル泳ぐことが全員できるようになってほしい。」との思いがある。そのためには、小学校のプールを8月末まで開放する必要がある。一方で保護者負担は期待できない。そこで夏休みとは言え、先生方は出勤されているのだから一人1時間づつ交替制で対応してもらえないか。それが無理なら警備会社に委託することはできないか検討する。

・市営プールの50メートルプールは底が抜けており、25メートルプールのろ過機も交換しなければならない。今50メートルプールを建て替えるは財政上難しい。案の段階だが、50メートルプールは埋めてグランドゴルフやフットサル、子どものサッカーが出来る多目的な人工芝を貼ったものにしたいと考えている。

(5)その他

・全国学力・学習状況調査の結果が新聞報道された。笠岡市の結果は近隣市町と比べ低い。岡山県議会でよく質問を受け、テストありきではなく人間力を付けることだと回答されているが、では人間力がついたかどうかを保護者に分かりやすく数値化したものが学力テストの結果だと思う。

・県知事は全国10位以内を目指すとアドバレンスを上げている。笠岡市がいきなり県内1位を目指すというのも難しいので、まずは全科目県平均以上を目指すことを目標にしたらどうか。

・今後、教師業務アシスタントを配置していただき、先生には授業に専念していただく。今後は学校の先生方を含めた学力向上プロジェクトチームを作って対策を練って行きたいと考えている。


4 閉 会 年 月 日

平成29年8月29日(火) 午後6時24分

上記会議のてんまつを記録し、関係図書を添付して、その相違のないことを証するため、署名押印します。

平成29年12月20日

笠 岡 市 長

小林 嘉文 


教 育 長

岡田 達也 

教 育 委 員

谷 喜一朗 

教 育 委 員

三谷 信恵 

教 育 委 員

石井 啓弔 

教 育 委 員

藤谷 幸弘 